

# 桜縁

特集●中高年が気を付けるべき病気

## 「働き盛り」は危険な年代

フロントランナー●人と自然、人と人の交流を演出する専門家  
ランドスケープアーキテクチャー 岩田明子

特別寄稿●新しい監査はリスクをチャンスにかえる  
商学部教授 堀江正之

連載●袖すりあうも

福井商店「与三郎の豆」

猫啼温泉 式部のやかた「井筒屋」

支部紹介／キャンパス・グラフ／校友会ニュース



タイトル：タビノブック 細野瑠衣さん（平成14年芸術・デザイン卒）の作品〈推薦者・木村政司芸術学部助教授〉



# 桜縁

日本大学校友会 会報誌  
No.27(2003.1)

## CONTENTS

### 特集●中高年が気を付けるべき病気

#### 「働き盛り」は危険な年代 ..... 3

澤田滋正 (医学部教授)  
龍順之助 (医学部教授)  
増田英樹 (医学部助教授)  
渡邊 登 (医学部助教授)  
伊藤公一 (歯学部教授)

### フロントランナー



岩田明子  
人と自然、人と人の交流を  
演出する専門家 ..... 6

### 特別寄稿

堀江正之 (商学部教授)  
新しい監査はリスクを  
チャンスにかえる ..... 8

### 連載・袖すりあうも



お店紹介  
福井商店「与三郎の豆」 ... 10



お宿紹介  
猫啼温泉 式部のやかた「井筒屋」... 11

支部紹介 ..... 12

キャンパス・グラフ ..... 13

校友会ニュース ..... 14

お知らせ・掲示板 ..... 15

## 「桜縁」の由来

日本大学(桜)と校友の皆さんとの縁を深めるだけでなく、校友の皆さん同士の縁も大切にしたいコミュニケーション誌を目指して『桜縁』(おうえん)と名付けました。また、校友の皆さんに母校の教育・研究活動や後輩達の学術・文化・スポーツ活動を“おうえん”(応援)してもらいたいという意味も込められています。

本学は総合大学とはいえ、キャンパスも離れているし、なかなか相互交流が取りにくかったのですが、最近は、総合学術情報センターの通信衛星を使った遠隔授業や、単位互換制度でも、学部間交流が深まりつつあります。校友の皆さんも卒業してから学部間交流ができるように、この会報には、年齢層はできるだけ幅広く、学部・学科の枠を超えて一人でも多くの校友の皆さんを紹介していきたいと思っています。

IT(情報技術)が発達し、インターネットのホームページや電子メールでの情報伝達が増えていますが、この会報『桜縁』を持って、紹介する校友のお店などをふらっと訪ねて、自分も日大の卒業生だと話しかけてみるのも良いのではないのでしょうか。きっと日本大学の話で盛り上がり、新しい縁が生まれるはず。この会報をどんどん活用して、桜の縁が広がっていくことを願っています。



表紙の写真  
学生の学術・研究活動を応援する目的で、本誌の表紙を学生のために広く開放し、活動発表の場にしたいと考えました。

タイトル:「タビノブック」  
細野瑞衣さん(平成14年芸術・デザイン卒)の作品  
(推薦者:木村政司芸術学部助教授)

インド、ネパール、チベット、中国そして日本。大学に入ってから、バイトで貯めたお金でアジア地域を中心に旅してまわった。「カメラは素人だけれど撮った写真は2,000枚を超えるかな」。卒業制作として、写真をアート感覚のデザイン集に仕上げたもの。日常生活の延長のような、気楽な旅を表現したかったという。

今後は、本格的に写真の勉強もしてデザインの仕事に活かしていきたい。HPアドレス <http://www2.odn.ne.jp/biyogon/>

## 「働き盛り」は危険な年代

### —中高年が気を付けるべき病気—



澤田 滋正 医学部教授(内科学I)

昭和18年東京都生まれ。昭和43年本学医学部医学科卒業。47年本学大学院修了。医学博士。専門分野は膠原病・リウマチ病の原因に関する研究と治療、内科学一般。平成8年に日本大学医学会同窓会学術奨励賞受賞。所属学会は日本内科学会、American College of Rheumatology、American Association of Immunology、日本リウマチ学会、日本免疫学会。現在、医学部付属練馬馬光が丘病院内科部長。

中高年がとくに注意すべきなのは、糖尿病、高血圧症、大腸ガンです。大腸ガンは、主に肉などの脂肪の多い食事に偏った食生活が原因で、糖尿病は肥満気味の方が危なく、口渇、手足のシビレ、急激な体重減少などの症状があります。高血圧については、ストレスや、お酒の飲み過ぎ、運動不足、喫煙、塩分のとりすぎなどが原因となりますので、これらに当てはまる場合は要注意です。

大腸ガンの場合は、早期なら内視鏡による切除手術が有効です。糖尿病の場合は薬物治療と栄養指導が主な治療法です。高血圧については、医師が処方した薬をきちんと飲み続けること。また、どの病気についても早期発見のポイントは定期検診です。

予防のポイントとしては、大腸ガンは、偏食を改め、食物繊維の不足に注意することです。糖尿病は適度な運動、栄養バランスのよい食事をとる、などです。高血圧は、先ほど挙げたような生活習慣を改めるのが効果的です。

それと、これらの病気ほど数は多くないですが、中高年の

40代以降のいわゆる中高年は、働き盛りといわれる一方、それまでの生活に起因するさまざまな生活習慣病(成人病)、心の病気などが表面化する危険な年代ともいえる。今回の特集では、中高年が気を付けなければいけない病気にはどんなものがあるのか、また、それらにどのように対処したらいいのか、日大病院各科の専門医の先生方に、お話をうかがってみました。

方が節々に腫れを認めた場合、リウマチにも注意が必要です。難治の病気といわれてきましたが、近年はよい薬も登場するなど、治療法にはめざましいものがあります。



龍 順之助 医学部教授(整形外科)

昭和18年東京都生まれ。昭和44年本学医学部医学科卒業。48年本学大学院修了。医学博士。専門分野は関節外科、関節教育代謝、関節リウマチの臨床的研究。所属学会は日本整形外科学会、日本リウマチ学会、日本リウマチ関節外科学会、日本リハビリテーション学会、日本手の外科学会。現在、医学部附属板橋病院副院長。

中高年がかかりやすい骨・関節の病気のなかでも、高齢化とともに増えてきているのが変形性膝関節症です。膝関節の軟骨がすり減って機能が衰え、痛みを生じるもので、肥満のある中高年の女性になりやすい。歩き始めに膝の痛みや違和感を感じたり、膝関節の屈曲が悪くなってきた場合、この病気の疑いがあります。

変形性膝関節症には、肥満と運動不足の組み合わせが最もよくありません。肥満を避け、適度な運動を心がけることが大切です。この病気にかかると、痛みのために運動不足になり、肥満が進行して筋力が低下し、膝に負担がかかりさらに悪化する悪循環に陥りがちです。軽症のうちに肥満と運動不足を解消するようにしましょう。

初期には、筋力強化、温熱療法、薬物療法、装具療法を



行い、進行すると、内視鏡を使った手術や人工関節置換術などを行います。近年は人工関節の技術が発達し、安定性と十分な可動範囲を両立できるようになり、手術後20年以上の耐久性が期待できるようになりました。また、膝の手術を両膝同時に行うことによって、入院期間やリハビリ期間を短縮する手術法も発達しています。お悩みの方は専門医にご相談なさることをおすすめします。

**増田 英樹 医学部助教授(外科学Ⅲ)**

昭和27年香川県生まれ。昭和52年本学医学部医学科卒業。56年本学大学院修了。医学博士。専門分野は消化器外科学。特に大腸・肛門外科。平成元年カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校研究助手。所属学会は、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本臨床外科学会(評議員)、日本大腸肛門病学会(評議員)、日本消化器病学会など。現在、医学部付属練馬光が丘病院外科部長。



中高年が注意すべき生活習慣病のなかで、私の専門である大腸ガンについてお話をさせていただきます。大腸ガンは、早期のうちなら内視鏡による手術で取り除くことが可能ですが、抗ガン剤や放射線が効きにくく、基本的には手術療法が中心となります。

大腸ガンは結腸ガンと直腸ガンに分けて論じることがありますが、なかでも直腸ガンは、骨盤内に多数の神経が存在したり、肛門括約筋があることから、それらをなるべく温存する手術法が望ましいと考えられています。日大医学部では、手術後の排尿・排便などの障害によるクオリティ・オブ・ライフ低下の観点から、肛門括約筋や自律神経を温存する手術法を積極的に行っています。直腸ガンの部位があまりにも肛門に近かったり、リンパ節の転移が非常に進んでいる症例以外は、自律神経温存、括約筋温存手術が可能です。

私の専門分野では、大腸ガン以外にも潰瘍性大腸炎やクローン病も増加しており、日大医学部でも潰瘍性大腸炎の病因解明に遺伝子学的アプローチを行っています。いずれの病気も早期発見・早期治療が重要なので、定期的な検診をおすすめします。



**渡邊 登 医学部助教授(精神医学)**

昭和25年静岡県生まれ。昭和51年本学医学部医学科卒業。昭和55年本学大学院修了。医学博士。専門分野は精神神経科学。平成3年に沖永賞受賞。3~8年まで国立精神・神経センター精神保健研究所研究部長。所属学会は、日本アルコール医学会評議員、日本精神神経学会、日本産業衛生学会、日本ストレス学会など。現在、医学部付属練馬光が丘病院精神神経科長。

中高年がなりやすい精神神経科の病気で、とくに最近増えてきたのがうつ病です。うつ病になりやすいタイプとしては、まじめで周囲に気がつかうがんびり過ぎの人が多いようです。

うつ病患者さんは、病気の自覚がないのが特徴で、そのために受診するのが遅くなる傾向があります。うつ病特有の症状があっても、病気とは思わないことが多いようです。周囲の方々がよく気を付けていてあげる必要があり、いつもの人柄と違う心身のエネルギーが低下した言動が目立ち始めたら要注意です。予防法としては、安定した穏やかな生活パターンを保ち、ゆったりした時間を持つことです。患者さんの周囲の方々も、叱咤激励は禁物で、病気の回復をじっくり待つてあげる態度が大事です。治療法は、休養と薬物療法が中心となりますが、うつ症状や自殺願望の強い患者さんの場合は入院治療が勧められます。

うつ病は俗に「心の風邪」といわれているように、だれでもかかる可能性はあるし、適切な治療を施せば治る病気ですので、偏見や抵抗をなくして、早めに受診することが肝心です。また、患者さん本人が病気に対する正しい知識と回復意欲を持つことが病気の改善を支えます。



**伊藤 公一 歯学部教授(歯科保存学)**

昭和22年新潟県生まれ。昭和47年本学歯学部歯学科卒業。51年本学大学院修了。歯学博士、Master of Science in Dentistry (MSD)。専門分野は保存治療系歯学(歯周病学)。昭和51年本学助手、53年本学専任講師、59年本学助教授、平成11年本学教授。所属学会は、平成10年歯科歯医学会理事、11年日本歯学会理事、11年日本歯科保存学会理事、12年日本歯周病学会常任理事、The American Academy of Periodontology。現在、歯学部付属歯科病院長。

働き盛りの中高年の80%以上の人がかかっているといわれています。虫歯も歯周病も口の中に棲んでいる細菌が作る歯垢によって起こり、食習慣や歯磨き習慣などの生活習慣と関連があることが指摘されています。最近では、喫煙や糖尿病が、歯周炎の進行を早める危険性のあることが報告されていますので、生活習慣の見直しや全身管理にも注意を払うことが大切です。

歯周病予防・治療の基本は、歯ブラシや糸ようじ、歯間ブラシなどを使って歯垢を極力0に近づけることが基本となります。現在では、かなり進行した歯周病の歯でも患者さん

の理解と協力のもとで適切な治療を行えば、歯を長期にわたって残すことができるようになってきました。しかし、患者さんが自分自身で歯垢や全身を管理する努力を怠ると、歯周病が再発することもわかっています。

歯周病を予防するためには、まず、自分だけでは歯垢を0にすることはできないことを理解する必要があります。そこで、かかりつけ歯科医とともに、生涯にわたって自分の歯と歯茎をおびやかす危険因子を極力低レベルにするよう努めていくことが大切となります。

日大病院のご案内

**日本大学医学部附属板橋病院**

診療科：内科、循環器科、呼吸器科、消化器科、小児科、精神神経科、皮膚科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、保健科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、形成外科、耳鼻咽喉科、気管食道科、眼科、放射線科、麻酔科(ペインクリニック)、リハビリテーション科、心療内科、神経内科、歯科口腔外科、救命救急科(東洋医学科)  
 稼働病床数：1,040床  
 休診日：日曜日・祝祭日、7月・8月の土曜日、年末年始(12月29日~1月3日)、6月1日(開院記念日)、10月4日(大学創立記念日)  
 外来受付時間：平日8:30~11:00 土曜(土曜診療を行っている場合)8:30~11:00 その他初診時紹介状持参の場合8:30~13:00(土曜日11:00)  
 所在地：〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30番1号  
 代表電話番号：(03) 3972-8111  
 交通手段：東武東上線大山駅南口下車徒歩15分/中板橋駅下車徒歩15分  
 JR池袋駅下車バス西口公園前④番乗場(日大病院行き)  
 地下鉄有楽町線千川駅下車バス(日大病院行き)  
 JR赤羽駅下車バス西口④番乗場(日大病院行き)  
 HPアドレス <http://www.med.nihon-u.ac.jp/hospital/itabashi/>

**駿河台日本大学病院**

診療科：内科、消化器科、循環器科、小児科、精神科、皮膚科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線科、麻酔科、神経内科、心臓血管外科  
 稼働病床数：400床  
 休診日：日曜日・祝祭日、6月1日(開院記念日)、10月4日(大学創立記念日)、土曜日 年末年始については病院にお問い合わせ下さい。  
 外来受付時間：平日8:45~11:30、13:30~16:00(新患のみ) 土曜(土曜診療を行っている場合)8:45~11:30  
 所在地：〒101-8309 東京都千代田区神田駿河台1-8-13  
 代表電話番号：(03) 3293-1711  
 交通手段：JR中央・総武線御茶ノ水駅下車徒歩2分  
 地下鉄千代田線新御茶ノ水駅下車徒歩3分  
 地下鉄丸ノ内線御茶ノ水駅下車徒歩5分

**日本大学医学部付属練馬光が丘病院**

診療科：内科、小児科、皮膚科、外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線科、麻酔科、神経内科、精神神経科、心血管・呼吸器外科、リハビリ科  
 稼働病床数：332床  
 休診日：日曜日・祝祭日、6月1日(開院記念日)、10月4日(大学創立記念日)  
 外来受付時間：平日8:45~11:00 土曜8:45~10:30  
 所在地：〒179-0072 東京都練馬区光が丘2-11-1  
 代表電話番号：(03) 3979-3611  
 交通手段：都営地下鉄大江戸線光が丘駅出口A-2徒歩5分  
 地下鉄有楽町線常盤台駅下車西武バス(日大病院行き・光が丘駅)乗車(旭町南地区区民館前)降車徒歩5分  
 東武東上線成増駅下車西武バス(日大病院行き・光が丘駅)乗車(旭町南地区区民館前)降車徒歩5分

**日本大学歯学部付属歯科病院**

診療科：歯科、矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科  
 稼働病床数：24床  
 休診日：第1・第3土曜日、日曜日・祝祭日、10月4日(創立記念日)、年末年始 ただし、第2・第4土曜日は再診患者さんのみの診療となっています。  
 外来受付時間：平日9:30~16:30(ただし初診患者さんは8:00~14:00) 土曜(土曜診療を行っている場合)9:30~12:00(第1・第3土曜日は休診)  
 所在地：〒101-8310 東京都千代田区神田駿河台1-8-13  
 代表電話番号：(03) 3219-8080  
 交通手段：JR中央・総武線御茶ノ水駅下車徒歩2分  
 地下鉄千代田線新御茶ノ水駅下車徒歩3分  
 地下鉄丸ノ内線御茶ノ水駅下車徒歩5分

**日本大学松戸歯学部付属歯科病院**

診療科：歯科、矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科、内科、外科、耳鼻咽喉科  
 稼働病床数：33床  
 休診日：日曜日・祝祭日  
 外来受付時間：平日9:00~15:30 土曜(土曜診療を行っている場合)9:00~12:00  
 所在地：〒271-8587 千葉県松戸市栄町西2-870-1  
 代表電話番号：047(368) 6111  
 交通手段：JR常磐線松戸駅西口下車バス(日大歯科病院行き)  
 地下鉄千代田線松戸駅西口下車バス(日大歯科病院行き)  
 新京成電鉄松戸駅西口下車バス(日大歯科病院行き)

**日本大学医学部総合健診センター**

健診の内容：問診、一般内科診察、血圧、心電図、超音波検査、呼吸機能検査、胸部X線検査、消化器X線検査、血液検査、尿科検査、聴力検査、便潜血検査など一般健診  
 婦人科検査(婦人科医による診察と子宮頸癌および体部癌の細胞診)、喀痰検査(肺癌)、大腸検査(直腸検査や注腸検査)などオプション検査  
 就職用健康診断、進学用健康診断、その他健康診断  
 利用料金(消費税込)：健診料金(契約料金)¥44,100(婦人科検査¥8,400、喀痰検査¥4,690)  
 健診料金(一般)¥47,250  
 休診日：日曜日・祝祭日、土曜日(不定休)  
 予約受付時間：平日8:30~16:30 土曜日(土曜健診を行っている場合)8:30~12:00  
 予約受付期間：3カ月先まで  
 所在地：〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-7-3  
 予約受付電話番号：(03) 3293-1701 予約受付FAX番号：(03) 3293-1708  
 交通手段：JR中央・総武線御茶ノ水駅下車徒歩5分  
 地下鉄千代田線新御茶ノ水駅下車徒歩6分  
 地下鉄丸ノ内線御茶ノ水駅下車徒歩6分

みなさまの健康のためにご利用ください



## 人と自然、人と人の交流を 演出する専門家



### 岩田 明子

昭和42年東京都生まれ。平成元年、文理学部教育学科卒業。大成建設・環境技術室に勤務ののち、単身渡米し、平成10年コーネル大学ランドスケープアーキテクチャーマスタープログラム卒業。現在はEDSA（フロリダの大手ランドスケープデザイン事務所）に勤務し、キャンパスデザイン・ホテルリゾートなどのプロジェクトを手がける。ASLA（米国ランドスケープアーキテクト協会）会員。ASLAデザイン名誉受賞。

ランドスケープアーキテクトという職業をご存知だろうか。建物だけでなく景観や環境まで含めた総合的な視点から空間をデザインしていく専門家のことだ。日本ではまだ耳慣れないこの分野に飛び込み、アメリカで活躍する岩田さん。これまでの経緯と、今後の展望をうかがってみた。

### デザインで、ビジネスやコミュニティを活性化

——まず、ランドスケープアーキテクトの仕事はどのようなものなのか教えてください。

単純にくると、建物をデザインするのが建築で、それ以外の外部空間をデザインするのがランドスケープです。分野で言えば公園、街並み、商業施設、テーマパークなどがあります。例えばテーマパークの周囲に、創り上げた「世界」を壊すような建物が見えていたら、樹木を植えたりしてうまく隠すわけです。ホテルに到着した時、そのホテルがどのように見えるか——という場の演出も、建築家とランドスケープアーキテクトが協力してプロジェクトを成功に導きます。

なるべく植物を使い緑豊かなデザインをしていきます。目を引く美しさだけでなく、「人が集まってきて楽しそう」、「街の賑わい」といったものをその空間に創り出せること、それがランドスケープデザインとしての成功だと思っています。また、ビジネス的な視点から言えば、ランドスケープによる付加価値がホテルの集客力や利益を上げたり、事業の発展につながったり、そういう面でも貢献します。

### ランドスケープこそ、私の情熱を表現できる道

——文理学部教育学科とランドスケープは直接結びつかないと思うのですが、どのような経緯があったのでしょうか。

教育学科の卒論では、大学の教育システムと学校校舎とキャンパスプランのつながりについて、アメリカの女子大学を取り上げて研究しました。そんなこともあって、大成建設に就職したのですが、配属されたのが環境アセスメントを担当する部署でした。そこで景観アセスメントの仕事を通じてランドスケープを知ったのです。それまで「情熱はあるが、それを何で表現したらいいかわからない」という気持ちだったのが、しだいに「ランドスケープで自分の情熱を表現したい」と思うようになりました。



手書のデザイン画、CAD（コンピュータによる設計製図）、施工図などの各段階を経て、空間ができていく。（上記図画：モダンズムガーデン、カヨラーゴリゾート・ブエルトリコ、ノバサウスイースタン大学・フロリダ）

大学時代に仲間とアート活動をしていたときも、テーマは風や光など自然に関するものが多かったですね。もの作りや自然への関心が根底にあったのかもしれませんが。

### 人との出会いが人生の転機になってきた

——留学、そしてアメリカでの仕事を選択したのは、自然な流れだったのでしょうか。

留学を後押ししたのは、教育学科の恩師の一言です。「もう、日本の会社のOLはだいたい分かったでしょう。アメリカにでも行って勉強すれば？」と言われてまして。あまり深刻に考えず留学しました。

卒業後は、日本に帰ることも考えました。アメリカは「平等の国」とは言っても、外国での就職はやはり大きなチャレンジですから。でも、それを日本で海外経験のある建築家にふと話したら、「ハンディがあっても海外でがんばっている人はたくさんいる」って怒られました。それで自分でも奮起しました。

私は、これまでに何度かそういう出会いを経験しています。厳しいことを言われて、そのときはショックですが、素直に「なるほどそうだ」と思って考えてみます。結局はそれが大切な人生の転機になってきました。

### ランドスケープの分野を広める「前例」をつくりたい

——ランドスケープの将来というのは、どうお考えですか。また、岩田さんご自身の目標はありますか。

これからは建物を個々に見ていくのではなく、マスタープランとして、その土地全体を見ていく必要があるでしょう。そこに専門家として貢献できると考えています。

日本でアメリカの事例を紹介すると、「あちらは土地が広くていいですね。それに日本は法規も厳しくて…」とよく耳にします。また日本では「前例」がないと話がなかなか進まない、皆さんのもどかしさが伝わってきます。もし私たちがプロフェッショナルとして社会に貢献して行くのなら、それを踏まえて、その範囲内でまずできること、やるべきことを提

案し、私たちの専門分野の貢献度の高さを示すことだと思います。ひとつでもそういったプロジェクトが実現されれば、そこから広がっていくでしょう。

私自身はどんな分野でも楽しんでやります。人と会うのが好きですし、いろんな人と協力して1つの事業を形にしていくという過程がすごく好きなんです。

### これからも、国際的な視点をなくさずに

——岩田さんが好きな、あるいは注目している街並みというのはありますか。また、今後、日本で活動することは考えていらっしゃいますか。

東京ほど建物が連なって途切れない都市は他にありませんね。人の賑わい、活気、パワーはすごい。土地が広いアメリカでは、逆にどうやって活気をつくるかという努力をしています。ただ、やはり東京に集中しすぎて、もっと地方都市にも人々が魅力を感じるようになればいいなと思います。そういう町おこしを目的とした地方都市開発も、ランドスケープの1分野なんですよ。

自分の国ですから、帰国のたびにいろいろな人々と交流するのは楽しみの一つです。そして私にとっては「アメリカで」「日本で」ということではなくて、アメリカにいれば日本のことがよく見えるし、日本にいればアメリカのことがまた違って見える。2つの国の間、2つの文化に在るということが、日本人の国際化には大事なことでないでしょうか。私はそういう視点をなくさないで生きていきたいと思っています。



仕事ではホテルに緑がある岩田さん。ホテルに泊まるとほっとするという。でも、つい仕事の目で見してしまうとか。



## 新しい監査はリスクをチャンスにかえる



堀江 正之 商学部教授(監査論)

昭和33年新潟県生まれ。昭和61年本学商学研究科博士課程満期退学。その後、専任講師、助教授を経て、平成8年4月より商学部教授。平成5年から1年間、カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)経営大学院客員研究員。「システム監査の理論」(「青木賞」受賞)などの著書がある。

学外では、日本内部監査協会「情報システム監査委員会」委員、日本監査研究学会「内部監査の国際比較研究部会」委員、日本セキュリティ・マネジメント学会常任理事、Information Systems Audit and Control Association調査担当常務理事、(財)金融情報システムセンター「統合的リスク管理研究会」委員、国際会計教育協会評議員、経済産業省「情報セキュリティ監査研究会」委員などを歴任。

「監査」という言葉を聞くと、一般的には堅苦しいイメージを覚えるだろう。少し詳しい人なら、会計監査の分野で世間を騒がせた「エンロン事件」のことや、詳細なチェックリストに基づいて業務の良し悪しを判断する業務監査を思い浮かべ、後ろ向きなイメージを持つのではないだろうか。しかし、本学商学部で監査論を担当する堀江正之教授は、リスクを引き下げ、業務プロセスを改善することで「リスクをチャンスにかえていく」ツールこそが監査であると言う。

### ■ 監査のイメージ

私は「経営監査論」という科目を担当しています。毎年、講義の初回に、なぜこの講義を受講しようと思ったかを学生に聞きます。「他にとりたいたい科目もないし〜、なんとなく〜」というのを別にすれば、「企業の不正を暴くというのはゾクゾクする」といった反応が少なからずみられます。また、「カンサ」という言葉を聴いて、どんなイメージをもつかを聞いてみますと、多くは「怖そう」「かたがちが優先される」、さらには「暗い」といった反応に集約されるように思います。

### ■ 監査の生命線

監査というのはわれわれの身近なところに沢山あります。町内会でも収支決算の監査がありますし、マンションの管理組合でも同様の監査があります。この例のように、通例、監査といいますが、会計の監査を意味します。



経営監査のゼミナール風景

14世紀から16世紀にわたって当時のイギリスでは、市の収入役や政府官吏の出納行為の監査がおこなわれていました。監査人に任命されたのは、出納担当とは「別の」吏員または「公衆の面前で選ばれた善良なる」市民だったといえます。監査の対象となる行為(この場合は出納行為)と利害関係のない人を監査人に選ぶことによって、偏向を排除するということがすでに定着していました。これを「監査人の独立性」といい、それを確保することが監査では一番肝心なことなのです。

もし、町内会で、会計監査担当の役目がまわってきたとします。領収書などの証憑類と帳簿を照らし合わせながらお金の流れをチェックしていったら、出納担当者による不正が見つかったとします。ところがなんと、その出納担当者は、常日頃何かと便宜をはかってくれているよき隣人です。ここはそっと目をつむり、あらかじめ用意された「上記、収支報告に誤りはありません」という雛型の文面(監査報告書)に、署名押印してしまった。ありえそうな話です。

次元は異なりますが、これが世間を騒がせた「エンロン事件」の本質です。エンロン社の監査を担当していた会計事務所は、このたった1回の監査の失敗で解体を余儀なくされました。会計事務所といっても、従業員数で8万人超、業務収入で90億ドル超の世界的規模で業務を展開する事務所です。監査を職業とする人たちにとって、その独立性の保持は、まさに生命線だったことを意味します。

### ■ 新しい監査のあり方

会計監査というのは、会計のルール(これを会計基準といいますが)をはっきりしていますので、正しいとか間違っているという判別はまだしやすい方です。けれども、監査は会計の監査ばかりではありません。業務を対象とした監査では、そもそも業務の良し悪しを判断するための明確な尺

度がないことが多いのです。ですから、「してはいけないこと」を羅列した職務規程を監査用のチェックリストに仕立てて、一つ一つ潰してゆくという方法がとられがちです。これこそが監査だと思いつくと、監査を受ける側からはますます敬遠され、しまいには「馬が盗まれてから馬屋に鍵をかけるための監査」とか「バックミラーをみて運転する監査」と揶揄されるのです。

それでも最近では、業務監査の様相も少しずつ変わってきました。リスクを引き下げるための監査、業務プロセスの改善に資する監査、という視点が大切であるということが、監査をする側でもされる側でもかなり明確に意識されるようになってきました。単に「業務規程に従っていましたが(あるいは、従っていません)」という監査報告ではなく、「業務をよりよくするためにはどのような改善が必要か」という点にこそスポットを当てた監査報告です。

わが国では、必ずしもイメージがよくない「監査」。しかし、リスクをチャンスにかえてゆく、そんな、前向きの監査、受けてよかったといわれる監査もあるのです。





OB・OGが経営している

## お店紹介

## 福井商店「与三郎の豆」

福井 晶一さん

(昭和55年商学部商業学科卒)

丹精込めた千葉の味を守り  
贈り先の人のことを考えた商品を作り続ける

## レコード販売会社勤務の後、家業を継ぐ

千葉県の名産品のひとつ、落花生。千葉銀座商店街に店を構える福井商店は、昭和24年の創業以来、千葉県産選りすぐりの落花生や豆菓子などを製造・販売し、「与三郎の豆」の商標で知られている。「落花生はどこでも売っていますが、当店では、契約農家で栽培するなど、まず栽培からこだわっています」と語るのは、2代目社長の福井晶一さん。本学商学部の出身だ。

「商学部に進学したのは、家が商売をしていたから。先生がおもしろく証券業界の話をしてくれる講義や経済学に興味を持ち、熱心に勉強しましたね」と学生時代を振り返る。

福井さんは、学生時代から叔父を社長として一族経営していた家業手伝いもしていたが、卒業後はレコード販売会社に就職。営業として3年半勤めた後、家業の自社工場移転を機に、退職し後継ぎすることになった。

●プロフィール  
福井 晶一

(ふくい・しゅういち)

昭和31年千葉県千葉市生まれ。本学卒業後、レコード販売会社の営業を経て、有限会社福井商店の代表取締役役に就任、現在に至る。千葉銀座商店街専務理事、千葉県観光土産品連盟理事、千葉電子商取引協同組合理事長なども務める。

## 先代から今も大切に引き継ぐ“気配り”

落花生を使った豆菓子は数多くあり、新商品が認知を得るまでには、大変な時間がかかる。たとえば、「甘煮」というヒット商品も、製品化されるまでに1年半ほどかかったそうだ。福井さんは、このような新しい取り組みをすすめる一方、先代から大切に引き継いでいることがある。それは、「贈る人、贈り物をもたらした人に対する気配り」だ。

「味が良いのは当然で、さらに商品に気を配るということをも大切にしています」。契約栽培もその一例。作った人の顔が見える商品、食品としての安全性をのれんが保証することで「あそこの店に行けば千葉県産の良い品が手に入る」と思ってもらえるのだ。

地元商店街や千葉県の産業振興のために元気に飛び回る福井さん。今までも、さまざまところで知り合った人が大学の先輩・後輩だったということが結構あったが、つい最近も、商店街の組合員に商学部の後輩がいることがわかった。

「たとえば商談をしていて、同じ大学だとわかると、それだけですぐにうち解けることができます。社会に出てからは、そういった横のつながりがとても役に立っていますね」。



## ●有限会社 福井商店

[営業時間] 9:30~18:00 (定休日なし)

[取扱商品] 「千葉半立から落花生(化粧箱入)」400g×2(3,000円)、から落花生、落花生の甘煮、甘南京の詰合せ「売れすじ3点セット」(2,400円)ほか多数。

[交通] 京成千葉線千葉中央駅下車徒歩約5分

[住所] 千葉県千葉市中央区中央3-16-5

TEL:043(224)4360 FAX:043(224)4316

ホームページアドレス: <http://www.yosaburo.co.jp>

## ◎一口メモ

昭和24年に「与三郎豆店」として開業、昭和28年に有限会社福井商店を設立。「与三郎の豆」の商標で千葉県産落花生、各種豆菓子、千葉県各地で生産されている優良農産品を取り扱う。とくに落花生と豆菓子は、契約農家での栽培から自社工場による加工、直営店での販売に至るまで一貫した管理を行っている。本店の他、船橋東武百貨店、柏高島屋店などの百貨店でも販売している。

OB・OGが経営している

## お店紹介

ねこなき

## 猫啼温泉 式部のやかた「井筒屋」

溝井 清一さん

(昭和49年経済学部経済学科卒)

老舗旅館に現代的経営を取り入れ、  
名湯と懐石料理で、お客をもてなす

## 和泉式部ゆかりの湯治場

猫啼温泉は、白河市から車で1時間。阿武隈高地の豊かな自然に囲まれた静かなところ。言い伝えによれば、今を去る千年の昔、平安王朝の女流歌人、和泉式部の愛猫がこの温泉水に浴して病を治したことから「猫啼」という名が付き、湯治場として知られるようになった。「井筒屋」は、当地で2軒しかない温泉旅館の1つで、創業明治2年の老舗だ。

「お湯は、リウマチ、外傷後遺症、痔などに効果のあるラジウム鉱泉です。大浴場や露天風呂でゆったりくつろいで、日頃の疲れを癒してください」と語るのは、本学経済学部出身の溝井清一さん。在学中は柔道部に所属し、今でも柔道部を中心に日大出身者との交流が続いている。

溝井さんは、実は、柔道だけでなくスポーツ全般が好きだという。井筒屋では、中学校の野球部などが合宿で利用する場

●プロフィール  
溝井 清一

(みずい・せいいち)

昭和26年福島県石川郡石川町生まれ。本学卒業後、家業の井筒屋を継ぐ。翌年、本学短期大学部出身の夫人と結婚。一女二男の父。次男も本学理工学部物理学科在学中という日大ファミリー。

合、宿泊料金割引や御飯食べ放題などのサービスがつくので、学校スポーツ関係者に評判が高い。「柔道場のある旅館を作るのが夢」と溝井さんは言う。

## 山紫水明の地で、舌鼓を打つ

溝井さんが中学2年生のときに、井筒屋は大火にあった。経営を建て直そうとする両親の苦勞を見て育ったという。

「とくに防災に気をつけています。また、会社としての組織強化を図り、平成4年に新館を増設するなど設備投資にも力を入れていきます。お客様に喜ばれ、社員に幸せを与えられるように“幸福と創造”をモットーとしているんですよ」。

「明治記念館」や日本料理の老舗「銀座大増」で修業した料理長は、20日に一度、献立を変えている。料理は、趣のある懐石料理が中心。旬の食材、山海の珍味、郷土の実りを使った「式部御膳」は人気メニューの1つだ。

井筒屋のすぐ前には、今出川の溪流が流れ、山がそびえる。雪景色、新緑、紅葉など四季折々の自然は、心が洗われる美しさ。ぜひ、心ゆくままゆったりと滞在してみたい。



## ●猫啼温泉 式部のやかた 井筒屋

客室総数: 新館18室・旧館40室/最大収容人数: 243人/宴会場: 大広間2部屋、コンベンションホール、会議室/浴場: 大浴場(男女各1)・露天風呂/駐車場: 駐車総数100台  
[交通] 東北自動車道須賀川ICから石川(いわき)方面へ/東北新幹線郡山駅乗換、水郡線磐城石川駅からタクシー3分。(ご予約の場合は当館送迎もあり)  
[住所] 福島県石川郡石川町字猫啼22  
TEL:0247(26)1131 FAX:0247(26)1132  
予約専用☎0120-89-1228  
ホームページアドレス: <http://www.itsutsuya.co.jp>

## ◎一口メモ

近くには、白河の関や須賀川牡丹園、あぶくま鍾乳洞など、歴史や自然が楽しめる観光スポットに恵まれている。カントリークラブも7カ所ほど点在。家族での泊まりはもちろん、ゴルフ仲間と訪れるにもうってつけ。  
日大出身者で「桜縁」を見て来ました」とひとこと言えば、宿泊料10%割引の特典がある。



## 日本大学校友会の組織

校友会地域支部の組織や活動内容について、詳しく紹介してほしいというご意見が多かったので、まずは組織について紹介し、今後の号で各支部の活動状況などを報告していきます。

各支部の連絡先は、校友会本部事務局・庶務課（電話03-5275-8143）までお問い合わせください。



### 日本大学校友会組織図

#### 日本大学校友会 (校友会本部事務局)

#### 都道府県支部 (65支部)

- 北海道ブロック (札幌/旭川/稚内/小樽/帯広/留萌/苫小牧/網走/釧路)
- 東北ブロック (青森/岩手/宮城/秋田/山形/福島)
- 関東ブロック (茨城/栃木/群馬/埼玉/千葉/神奈川/川崎/山梨)
- 東京ブロック
  - 東京都第一支部: 千代田/中央/港/新宿/文京/台東
  - 東京都第二支部: 品川/大田
  - 東京都第三支部: 目黒/世田谷
  - 東京都第四支部: 渋谷/中野/杉並
  - 東京都第五支部: 豊島/北/板橋/練馬
  - 東京都第六支部: 墨田/江東/荒川/足立/葛飾/江戸川
  - 東京都第七支部: 23区以外全域
- 東海ブロック (岐阜/静岡/愛知/三重)
- 北信越ブロック (新潟/富山/石川/福井/長野/長野北信)
- 近畿ブロック (滋賀/京都/大阪/兵庫/奈良/和歌山)
- 中国ブロック (鳥取/島根/岡山/広島/山口)
- 四国ブロック (徳島/香川/愛媛/高知)
- 九州ブロック (福岡/北九州/佐賀/長崎/佐世保/熊本/大分/宮崎/鹿児島/沖縄)

#### 学部別部会 (15部会)

法/文理/経済/商/芸術/国際/理工/生産工/工/医/歯/松戸歯/生物/薬/通信

#### 職域別部会 (4部会)

全国校師会/校門会計人会/日本大学法曹会/全国校門スポーツ部会

#### 校門会

#### 海外特別支部 (7支部)

韓国/ブラジル/ロサンゼルス/台湾/サンフランシスコ/スペイン/ニューヨーク

# キャンパス・グラフ Campus Graph!

(記事・写真提供 日本大学広報部)

### クフォー大統領(ガーナ)ご来校

ガーナ共和国のジョン・アジェクム・クフォー大統領ご夫妻が10月21日、日本大学会館を訪れ、ガーナ大学と学術交流協定を結んでいる本学の瀬在幸安総長と「本学からの農業など三分野の協力」を軸とした一層の交流促進を誓い合った。クフォー大統領はテレサ夫人とともに謁見会場で本学役員ら総出の歓迎を受けた後、大講堂で記念講演し、「日本大学との絆(きずな)を深め、ガーナ共和国発展の礎である教育の充実を図りたい」と交流の成果結実に熱い期待を寄せた。



歴代総長像の前で瀬在総長との記念撮影に応じるクフォー大統領ご夫妻

### 「2002 日大フェア」東京会場で内山読売社長が講演

本学の新しい魅力や未来戦略を知ってもらう、ことし2回目の「2002 日大フェア」が11月8日、東京・赤坂の東京全日空ホテルで開かれた。9月の神戸でのフェアに続くもので、東京開催は初めて。「進学相談会」はひと足早く10月に日本大学会館で行われ、多くの高校生が訪れたが、この日も校友の内山齊読売新聞東京本社社長の「文化講演会」などに首都圏の校友ら約700人が訪れる盛況ぶりだった。



内山氏の講演に、多くの校友らが聞き入った

### にぎやかに学部祭=NU祭 催して「絆」を深めた!

14年度の学部祭は「NU祭」と合わせ「絆-2002」の統一テーマで、11月初旬の連休をピークに、各学部とも、それぞれ趣向を凝らしてにぎやかに行われた。ライブショーや料理教室、地域との触れ合いを大切に企画も増え、キャンパスを中心に連帯の輪が広がった。



恒例の法・経合同パレード。街に元気な掛け声がかました

### ホットな母校ニュースは「日本大学広報」「日本大学新聞」でどうぞ

広報部では、毎月15日付で機関紙「日本大学広報」(送料共年1,000円)を、季刊で「校門春秋」(送料共年1,600円)をそれぞれ刊行しています。

また、学生記者が取材・編集する「日本大学新聞」(送料共年2,000円)も学生の話や日大スポーツ満載で毎月発行中です。

●購読ご希望の方は下記まで  
広報部

TEL.03(5275)8132

FAX.03(5275)8321

日本大学新聞事務局

TEL.03(5275)8144

FAX.03(5275)8331

●ホームページも開設中

大学の情報は、ホームページでもご覧  
になれます。

アドレスは <http://www.nihon-u.ac.jp>



## 桜門会公認される

10月から桜門会の本部公認を開始したところ、12団体から申請があり、11月1日に開かれた第8回校友会常任役員会で公認を了承した。団体名は次のとおり。

- 鴻池組桜門会「桜鴻会」
- 日本警備(株)日警桜門会
- 若築建設(株)目黒桜門会
- 日大トラベルサービス(株)桜門会
- 坪井工業(株)銀座桜門会
- 石橋産業(株)目黒桜門会
- 朝見工務店桜門会
- 旭建設(株)千葉桜門会
- 映像プロダクション桜門会
- 辰島建設(株)板橋桜門会
- 山下設計桜門クラブ
- 西松建設(株)西松桜門会

## 校友会会議

校友会には、会長の指示の下に各種運営委員会(総務、財務、企画、広報、組織)を置き、この会の運営に必要な事項を協議している。10月以降に開かれた校友会会議および委員会は次のとおり。

- 12月13日 第2回校友会常任委員会
- 12月13日 第1回会長・副会長会
- 10月11日 第7回校友会常任役員会
- 11月1日 第8回校友会常任役員会
- 12月6日 第9回校友会常任役員会
- 10月7日 第3回総務委員会
- 10月25日 第4回総務委員会
- 11月29日 第5回総務委員会
- 10月24日 第3回財務委員会
- 12月4日 第4回財務委員会
- 11月6日 第3回企画委員会
- 10月28日 第3回広報委員会
- 12月2日 第4回広報委員会
- 10月9日 第3回組織委員会
- 11月19日 第4回組織委員会

## 日本大学校友会役員

会長：白田貞夫 本部長：田中英壽  
 副会長：田村榮一 岡田正美 浜中一泰 竹平栄太郎 今村忠雄 菅 脩 加藤木研 齊藤英彦 森山憲一 松井健治  
 賀島 豊 道見俊廣 高橋文吉 田澤智治 飯尾健太郎 中礼思無哉 佐藤 孜 山口利夫 坂田 稔  
 井狩正司 長谷部平吉 久保 進 柴田 正 安達昭郎 鬼丸三也 田中 隆 岩永克美 茂澤 泉 山内 盛  
 猿渡 光 鈴木久一 木村久彌  
 監 事：伊東純江 原田貞亮 穂積修一

## お知らせ・掲示板

このコーナーは皆さんからの手紙や電話でのご意見、ご質問を紹介します。  
 他にも写真、詩、短歌、エッセイなどの作品や、  
 本誌で紹介したお店を訪ねた感想なども  
 募集していますので、「桜縁」係までお寄せください。

### ●校友向けにいろいろな冊子が送られてきますが、「KIZUNA〈絆〉」と「桜縁」の違いについて教えてください。

「KIZUNA〈絆〉」は、大学が毎年3月に発行しているもので、88万6千人の全校友の内、住所が判明している約45万人に無料で送付しています。

「桜縁」は、会費を納めた正会員にのみ送るもので、校友会が発行しています。内容は「KIZUNA〈絆〉」と重複しないようにして、活躍する卒業生の紹介を中心に、大学のニュースや校友の経営するお店紹介など、年2回(1月と7月)の予定で発行していきます。「絆」より、会員同士のコミュニケーションを大切にしたい会報誌を目指しています。

また、校友会会則第35条に、正会員会報で会員に会計報告をすることが明文化されていますので、今回の総会終了後の「桜縁」には掲載する予定です。「絆」はあくまでも、大学が全卒業生を対象にしているのに対し、「桜縁」は正会員を対象にした会報誌です。

読みづらいので活字を大きくしてほしい、関西方面の校友の情報も紹介してほしい、ページ数を増やしてもっと充実を望む、などのご意見も多かったのですが、制約も多いので、できることから少しずつ改善していきたいと思えます。活字については創刊号よりも少し大きくしました。

### ○インフォメーション

◎本誌への情報提供、ご意見、お問い合わせは…  
 この会報は1人でも多くの校友の皆さんを紹介し、校友の皆さん同士のコミュニケーション(縁)を深めていただきたいと思います。お店やお宿を営んでいる校友に限らず、ユニークな先輩や後輩がいるとか、自分を紹介してほしいなど、自薦他薦を問いませんので、事務局までお知らせください。

◎住所・勤務先がお変わりになられたら…  
 住所、勤務先等に変更がございましたら、必ず本部事務局までお知らせください。  
 電話、FAX、メールいずれの方法でも結構です。

◎会員証を紛失されたら…  
 会員証を紛失された際はすぐに本部事務局までご連絡ください。再発行させていただきます。

◎新規会員を紹介したい…  
 新規会員をご紹介くださる方は、本部事務局までご連絡ください。資料を送付させていただきます。

- 1 封筒、ハガキで  
〒102-8275  
東京都千代田区九段南4-8-24  
日本大学校友会本部事務局校友課「桜縁」係
- 2 電話、ファクシミリで  
TEL. 03(5275)9300  
FAX. 03(5275)8330
- 3 電子メールで  
E-mail : koyu@adm.nihon-u.ac.jp

### 編集後記

広報委員会・今村忠雄

創刊号に同封したアンケート調査の結果をもとに、会員の皆様のご要望を少しずつ反映させながら、今号を編集いたしました。予想以上に多くのご意見をいただき編集側としては嬉しい限りです。貴重なご意見を活かす編集をしていきたいと思えますので、今後ともよろしくお願いいたします。

桜縁 No.2/2003.1 発行 編集・発行 日本大学校友会  
 〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24  
 TEL. 03(5275)9300 FAX. 03(5275)8330

### 広報委員会

委員長：今村 忠雄  
 副委員長：猿渡 光  
 委員：竹井 哲也 中村 克夫 渡邊 和子 穂積 修一 石井 宏 紙本 勲  
 萩原 正芳 横須賀 靖 鈴木 弘文 大橋 治彦 中島 正博 呉屋 正盛